

人と自然を大切にすまち羽咋

がんばる羽咋創生プラン

羽咋市は、日本海に突き出た能登半島の入り口に位置し、8kmの渚なぎさを下ドライブできる千里浜海岸をはじめ、柴垣海岸や美しい棚田を擁する里山の風景など、恵まれた自然の息づくまちです。また、県内の建造物重要文化財の20%を有する歴史的文化遺産の多いまちでもあります。

21世紀に入って日本の社会も少子高齢化と人口減少時代を迎えています。本市にとつても例外ではなく、今後も継続して取り組んでいく課題だと考えています。

このような中、本市では「がんばる羽咋創生プラン」を策定し、地域循環型経済を目指して農業の6次産業化などで雇用の創出を図り、高齢者や若者が夢を持って暮らせる魅力あるまちづくりを進めています。

都市再生構想

本市は平成24年度に「はくい再生プログラム」を策定し、これまで取り組んできた安全安心なまちづくりをより一層進める一方、北陸新幹線金沢開業を見据えた交流人口の拡大策や人口減少に歯止めを掛ける若者定住策を推進してまいりました。本年度からは「羽咋市都市再生構想」として「交流人口拡大から定住促進へ」をテーマに、「世界農業遺産」の活用をはじめ、本市への玄関口となる「千里浜インター周辺観光交流拠点整備」「J.R羽咋駅周辺整備」の3点を重点施策としています。

世界農業遺産の活用では「能登の里山里海」を生かした能登全体の情報発信を行い、市の魅力づけと誘客を促進します。千里浜インター周辺観光交流拠点整備では、「のと

里山海道」無料化で交通量が増加する中、本市の海側の玄関口である千里浜インター周辺を整備し、市内の公共施設など施設間の回遊性を高める機能も付加します。

J.R羽咋駅周辺整備では駅西エリアを観光誘客による交流の玄関口に、駅東エリアを通勤・通学者など定住者の玄関口とし、「交流」「賑わい」「定住」をテーマに駅周辺一帯の整備を進めます。今後、駅前広場、駐車場・駐輪場、ロータリーの整備、および道路の拡幅などを計画しており、住環境のさらなる向上を目指してまいります。

定住促進策として 駅東定住促進分譲

本市は「活力あるまちづくり」に向けた定住促進策の一環として、J.R羽咋駅東に10区画の「定住促進分

譲地」を造成、9月1日から分譲予約の受付を開始しました。宅地購入者に最大270万円の住宅取得助成を行うほか、道路整備など周辺の住環境向上にも取り組みます。

充実した住宅関連支援

本市では子育て世帯である若者を定住させる狙いで住まいづくり奨励金をはじめ、子育て・新婚世帯家賃補助、耐震診断や耐震改修工事にも補助がある耐震化支援や、リフォーム助成金など定住につながる支援を充実させています。

子育て支援充実 18歳まで医療費助成

平成元年に約2万8500人だった本市の人口は、平成25年には約2万3100人に減りました。少子高齢化も進んでおり、将来の活力低下が懸念されます。こうした背景から市は少子化対策にも力を入れてきました。特に子育て支援の充実を図っており、年130

人程度であった出生数が平成24年度から増加に転じ、平成25年度には年168人と増加が加速するなど成果が表れてきています。

市内の保育所(園)は現在、公設民営を含め公立が7カ所、民営が2カ所あり、総定員は590人で一時保育、病後児一時保育、延長保育および休日保育を実施しています。子育て援助を求める人と応援したい人が相互援助する会員制のファミリー・サポート・センターもあり、乳幼児や小学生を一時的に預かる制度も実施しています。また、子どもが生まれると2万円分の子育て応援券を支給し、一時保育、任意予防接種、チャイルドシート購入などに支援してい



CASBEEにおいて最高評価を得た羽咋中学校新校舎

ます。そして、これまで0〜15歳の医療費が無料でしたが、本年10月からは助成対象を18歳まで拡大し、16〜18歳については1カ月分の負担が上限1000円になりました。

小学校・中学校の耐震化完了

安全・安心の確保のため小中学校の改築や耐震化を進めています。本年1月から新校舎の供用が開始された羽咋中学校は、CASBEE

(建物環境総合性能評価)で中学校施設として全国2例目となる最高評価Sランクを取得しました。引き続き本年度末の完成を目指し、体育館を改築中です。また、余喜小学校管理棟の改築も本年度内に完成します。これにより、市内全保育施設と小中学校の耐震化が完了することとなります。一方、市内唯一の公立羽咋病院も平成25年中に耐震増改築工事が完成しました。

雇用確保に向けた企業誘致も強化

雇用確保に向けた企業誘致にも力を入れています。

この4年間では福井鋳螺やNTN羽咋製作所の工場増設をはじめ、創

和テキスタイルの工場新設、重光商事の物流拠点施設の新設およびアウトドア用品メーカー・モンベルの工場新設など5社の企業立地が実現しています。その投資額は約77億円であり、101人の雇用が生まれています。これら企業の進出により若者定住促進がはかられています。今後とも、常に10年先を見据えた『オンリーワン』のまちづくりを進めてまいります。

プロフィール

- ◆ 面積 81・96 km²
- ◆ 人口 2万3130人
- ◆ 世帯数 8494世帯

〔将来都市像〕活力にあふれ、人と自然を大切にすまちはく、
〔まちの特徴〕日本海に突出する能登半島の基部に位置し、ほぼ中央に広がる邑知平野は能登最大の穀倉地帯
〔特産品〕米(神子原米)、能登すいか、神子原くわい、大根、はとむぎ、岩ガキ、大社焼など



羽咋市長
山辺芳宣



〔観光〕千里浜なぎさドライブウェイ、気多大社、宇宙科学博物館コスモアイル羽咋、妙成寺、永光寺、豊財院、神子原の棚田
〔イベント〕おいで祭り、妙成寺五重塔まつり、千里浜砂像、ジェットスキーin千里浜、千里浜ビーチバレー、ジャパンチャレンジ、羽咋まつり、川渡し神事、唐戸山神事相撲、鶴祭り、寒水荒行など



アウトドア用品メーカー・モンベルの新工場

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

夢と誇りある「ふるさと葛飾」を めざして

脈々と引き継がれる
下町人情のまち「葛飾」

葛飾区は、東京23区にあって、下町人情にあふれ、地域における人々の絆ゆかりが強い土地柄です。地域に住む人や、工業・商業・農業などの産業、福祉、子育て、環境、まちづくり、文化、スポーツなどさまざまな分野に携わる方々によって、「地域をより住みやすくしていこう」とする活動が活発に行われてきました。現在に至っても、

この伝統は脈々と受け継がれています。

このため、下町人情あふれる地域、そして葛飾に暮らす人そのものが、私が思う一番の葛飾の魅力です。私は、区の取り組みだけではなく、下町葛飾の人情や絆をあらゆる分野に生かして、区民・事業者・区が協働して、さらに葛飾区の魅力を高めていきたいと考えています。また、協働による活動をより充実させるためには、幅広い層に協働の担い手として活躍していただく必要があると思っています。区としても、支援策の拡充や新しい仕組みを構築するなどして、子どもから高齢者まで幅広い層の区民や事業者が協働による活動に誇りややりがい、生きがいを持って参加できる環境づくり

に取り組んでいきます。

葛飾ゆかりのキャラクターを生かした観光まちづくり

葛飾の観光地として、まず思い浮かぶのが映画「男はつらいよ」シリーズで全国的に有名になり、今でも多くの観光客でにぎわう「寅さん」の柴又ではないでしょうか。「寅さん」は、柴又のまちづくりにおいて、地域の方々に大きな影響を与えました。「寅さん」の作品イメージや世界観がまちづくりの指針となり、地域が主体的にまちづくりに取り組む原動力になっております。そして、私は今でも本区の名誉区民でもある山田洋次監督と柴又をはじめとする「下町かつしか」のまちづくりについて意見交換をさせていただいているところです。

この「寅さん」が良い成功事例と

なり、漫画「こちら葛飾区亀有公園前派出所」の亀有地域の取り組みにもつながっています。亀有地域には、「両さん」をはじめ、いわゆる「こち亀」関連のキャラクター銅像が14体あり、最近では、アニメ放送をきっかけに、台湾から多くの観光客も訪れています。こうした作品を通して、下町人情というイメージが定着しています。

また、最近では、海外でも大変人気のあるサッカー漫画「キャプテン翼」を活用した観光まちづくりも行っています。原作者の高橋陽一さんが本区出身ということもあり、区内の四つ木や立石地域を中心に漫画に登場するキャラクターの銅像を設置しました。本年はワールドカップ開催年ということもあり、多くのメディアにも取り上げられました。これらの作品と地域が深くつながることによって、そこに暮らす方々にとっての誇りや郷土愛の醸成に大きな影響を与えています。葛飾の観光まちづくりは、こうし



柴又駅前の風景

た地域を愛する区民と協働することで支えられています。本区では、地域を愛する区民の思いを、区にゆかりのある人気キャラクターを活用して、観光PRなどに積極的に国内外へアピールしています。

いつまでも元気に暮らせるように

福祉や健康の分野でも協働を進めています。本区では、65歳以上の方を対象に、運動に取り組むきっかけづくりのために、区内にある民間のフィットネスクラブと協働して運動習慣推進プラチナフィットネス事業を行っています。各クラブのスポーツインストラクターが個々人の状況に合わせた運動の指導などを行います。既に平成25年度から実施し、これまで参加275人中247人が、今後も運動を続けていきたいと回答しています。民間事業者の持つ専門性を活用して区民の健康に取り組んでいます。

広がっている花いっぱいのまちづくり

本区では、駅前広場や公園、河川敷、公共施設などが花いっぱい

の空間となるよう、花いっぱいの活動を行う区民や団体に花苗や種などの提供のほか、花の育成や管理に関する知識の普及、活動のPRなどを行っています。現在では、100を超える団体が既に区内各所において花でまちをきれいにする取り組みを行っています。こうした取り組みは、行政側から押し付けるのではなく、取り組みたい人をいかにサポートできるかが鍵です。結果、まちがきれいになり、花を育てる区民もやりがい、生きがいを感じ、郷土への愛着を醸成することにもつながっていることを実感しています。活動の輪がさらに広がって大きくなるよう期待



花いっぱいのもちづくり(荒川河川敷での菜の花摘みと東京スカイツリー)

しているところです。

区民との協働による新たなにぎわいの創出

葛飾区の魅力を区外へ積極的にPRすることは、夢と誇りあるふるさと葛飾を実現する上で大きな要素になります。本年度の新たな取り組みとしては、屋外会場にて葛飾の人気店が出店し、食の魅力を区内外にPRする「フードフェスタ」や、ものづくりのまち葛飾の優

れた技術を発信し、販路拡大を図るため区外にある東京国際フォーラムを会場に「町工場見本市」(平成27年2月12、13日予定)を開催するほか、川に囲まれた本区の特長でもある河川敷を利用し、子どもから高齢者まで多くの区民をはじめ、気軽に参加できるランニングイベントの「かつしかふれあいRUNフェスタ」(平成27年3月8日予定)の開催など、新たな魅力の創出にも取り組んでいきます。

プロフィール

- ◆ 面積 34・84 km²
- ◆ 人口 44万9725人
- ◆ 世帯数 21万7778世帯

〔将来都市像〕水と緑ゆたかな心ふれあう住みよいまち

〔まちの特徴〕東京の北東部に位置し、荒川、江戸川、中川など河川に囲まれた自然豊かな、下町人情あふれるまち

〔特産品〕小松菜、川魚料理、草だんご、もつ焼き、焼酎ハイボール



葛飾区長
青木克徳



〔観光〕柴又帝釈天、矢切の渡し、寅さん記念館、山田洋次ミュージアム、堀切菖蒲園、水元公園、「こち亀」銅像、「キャプテン翼」銅像、しはられ地蔵

〔イベント〕堀切大風揚げ大会、かつしかさくらまつり、葛飾菖蒲まつり、葛飾納涼花火大会、葛飾区産業フェア、かつしかフードフェスタ、かつしかふれあいRUNフェスタ

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

「人と自然が輝きみんなで創る 夢のまち」をめざして

はじめに

宍粟市は、兵庫県の中西部に位置し、北は鳥取県、西は岡山県に隣接しています。京阪神と中国地方を結ぶ中国縦貫自動車道と、山陽と山陰を結ぶ国道29号線が交差する西播磨内陸の交通の要衝として栄



宍粟の魅力を全国にPRするCMコンテスト

えてきました。面積は658.6km²と淡路島より広く、兵庫県全土の約7・8%に当たり、その約9割を森林が占める自然豊かなまちです。

難読地名を逆手にとって

宍粟市は平成17年4月1日、旧宍粟郡4町（山崎町、一宮町、波賀町、千種町）が合併し、誕生しました。市名は、公募の上、宍粟郡の名を継承する形で宍粟市に決まりました。この宍粟という名は奈良時代に編纂された「播磨国風土記」に記される宍禾（しきわ）に由来する歴史あるものです。しかし「読みにくい、書きにくい」といった声も聞かれ、実際、市に届く郵便物も間違っただものが多く見受けられました。こうした中、書籍『日本の珍地名』（文春新書・竹内正浩著）で「難読・誤読地名の市」と紹介されたことを機

に、改めて難読であることを認識するとともに「難読を逆手にとって、宍粟を全国にPRしよう」という機運が高まりました。以降、「読めますか？ 宍粟市知名度アップ大作戦」と題して、宍粟の魅力を全国にPRするCMコンテストを開催するなどさまざまな取り組みを行ってきました。また、同じ難読地名が縁となり千葉県匝瑳市と交流を行うなど、この取り組みを通じて多くのことを学びました。この経験を今後のまちづくりにも生かしていきたいと思えます。

森とともに生きるまち

本市は、兵庫県下最高峰氷ノ山（三ノ丸）を筆頭に、第2峰の三室山、第3峰の後山など1000m級の中国山脈が東西に走り、かねてより多くの登山者が訪れていま



初級者から上級者までが楽しめる「宍粟50名山」

した。国土地理院が発行する地形図に載る山名の付いた山々のうち、三角点のある1000m級の山は16座を数え、兵庫県下一の多さを誇ります。こうした山々を観光資源として生かし、もっと多くの観光者（登山者）に来てもらおうと、平成20年に「宍粟50名山」を選定しました。登山者に人気の山、地域に親しまれてきた山、樹種豊かな山などバリエーションに富む50山

を選び、初級者から上級者までが楽しめるようになっていきます。案内標識や山頂標柱の設置などを含め登山道の整備も行い、安全面においても万全を期すよう努めています。また、50山すべてを踏破された方には完全踏破の証として、賞状と記念品をお贈りしています。

1つの自治体で登山対象の山を50山選定し、発表するという取り組みは、全国的にも例が少なく、近年の登山ブームと相まって人気を博し、選定後6年が経過する現在、累計300人に及ぶ方が完全踏破を達成され、1年を通じて多くの方に登山を楽しんでいただいています。

また、豊かな森林を生かし、このたび「森林セラピー」の申請を行うことにしました。大河ドラマ「軍師官兵衛」のタイトルバック撮影地の赤西溪谷などを「森林セラピー基地」として申請を行い、既に実証実験が終了しています。現在、全国で50カ所余りある「森林セラピー基地」および「セラピーロード」ですが、本市が認可されれば兵庫県では初となるため、大きな期待を寄せています。

こうして、自然の持つ魅力を最

大限に生かしながら、観光面に限らず産業面にも波及効果が得られるような仕組みを作り、地域の活性化につなげていきたいと考えています。

市政10年目を迎えて

本市は、今年度で市政発足10年目を迎えました。この節目の年を機に、さらに大きく飛躍したいと考えています。さまざまな課題も山積しておりますが、選択と集中を行い、人口減対策や地域資源を生かした新たな産業振興策、スポーツ立市に向けた施策展開などにスピード感をもって取り組んでいるところではあります。

中でも人口減対策は大きな課題であり、現段階では定住人口を増加させることは厳しい状況にありますが、交流人口を増加させ、市の活性化につなげていきたいと考えています。平成27年は「播磨国風土記」編纂1300年、宍粟立藩400年を迎えます。歴史あるまちとしてPRしながら、さまざまな観光施策を展開してまいります。そして「このまちに住んでよかった」「住み続けたい」あるいは「住んでみたい」と誰もが思っていただけ

るまちを目指し、安心・安全なまちであることはもとより、市民が健康で生き生きと暮らし、地域、経済、産業などあらゆる分野において「活力ある」まちづくりに取り組んでまいります。

結びに

日本創生会議人口減少問題検討分科会から、2040年には全国で896自治体が消滅するという

試算が発表されました。残念ながら本市もその中に含まれています。しかし、難読地名の取り組みから逆境も順境に変えることができることを学びました。市民の皆さまと知恵を出し合い、宍粟の魅力を発信しながらまちづくりを進めることにより、必ずや市の将来像である「人と自然が輝きみんなが創る夢のまち」を実現できると考えています。

プロフィール

- ◆ 面積 658・60 km²
- ◆ 人口 4万815人
- ◆ 世帯数 1万4564世帯

〔将来都市像〕「人と自然が輝きみんなが創る夢のまち」

〔まちの特徴〕「しろう森林王国」と称する豊かで美しい自然と地域に根付く特色ある文化

〔市町村合併〕平成17年4月1日、旧宍粟郡4町（山崎町、一宮町、波賀町、千種町）が合併



宍粟市長
福元晶三



- 〔特産品〕アユ・アマゴ、播州手延素麺「揖保乃糸」、宍粟牛、黒大豆加工品、自然薯
- 〔観光〕宍粟50名山、兵庫県立「国見の森公園」、ちくさ高原、大蔵神社「千年藤」、最上山「もみじ山」
- 〔イベント〕宍粟市さつきマラソン、妙見夏まつり、一宮夏まつり「土曜夜店」、山崎納涼夏祭り、はが祭り、もみじ祭り、宍粟市ロードレース大会

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

「健康で活力のある安心の杵築市」を

江戸のまち杵築

杵築市は、東に伊予灘、南に別府湾の海岸線と両子山ふたごさんから連なる西鹿鳴越山系にしかなこえ、雲ヶ岳などのなだらかな山々に囲まれ、瀬戸内式特有の温暖な気候の恩恵を受け、美しく豊かな自然環境に育まれた風光明媚めいびなまちです。大分空港や大



杵築城と守江湾を望む眺望

分市、別府市までのアクセスが良く、大分空港道路や宇佐別府道路、大分自動車道の高規格道路の連結点となっており、ことから

交通の要衝となっています。

江戸時代に松平3万2千石の城下町として栄え、今なお当時の風情を色濃く残しています。杵築城を中心に南北2つの高台の武家屋敷が商人の町を挟む独特の形状は日本唯一とされ、多くの坂でつながれた城下町を「ゆつくり歩く 見上げる 見下ろす ふりかえる」と江戸時代にタイムスリップすることができ、また、温泉や豊かな自然に恵まれ、さまざまな海の幸、山の幸が豊富にあります。本市では、日常の疲れから解き放たれ、ゆつくりと流れる至福の時間を過ごしていただけます。

九州豊後路の小京都

また、本市では、町中を着物姿でいっばいしたいと平成21年に「杵築和服応援宣言」を行い、城

下町では全国で唯一の「きものが似合う歴史的町並み」に認定されまし

た。着物を着ている方は杵築城など市内の観光文化施設に無料で入館でき、飲食店や土産店で割引などのサービスが受けられます。着物をお持ちでない人でも、着物散策の拠点である市役所前の「和楽庵」で着物のレンタルと無料で着付けをしてもらうことができます。手軽に江戸時代の風情を体験できることから、若い方から外国の方まで幅広い層の方から好評をいただいています。和服を着て和傘を差し、映画のセットではない本物の城下町を散策してみませんか。

市民が誇りを持てるまちへ

平成25年5月に本市を含む国東半島・宇佐地域6市町村が「世界農業遺産」に認定され、また、本年の

7月には本市など県北8市町村が「豊の国千年ロマン観光圏」として観光庁の滞在交流型観光圏の認定を受けました。さらに、平成27年7月から9月までの間は、J Rと大分県の自治体がタッグを組んだ「J R デステイネーションキャンペーン」が開催されます。

これらを契機として、基幹産業である農林水産業の六次産業化や農産品のブランド化、また、江戸時代の町並みを残す城下町を生かした観光振興など、本市の魅力にさらに磨きをかけ、杵築市に住みたい、帰ってきたいと思えるまちづくりを行い、市民の杵築市に対する誇りを育ててまいりたいと考えています。

安心・安全の杵築市へ

少子高齢化、過疎化に伴い、高齢者世帯がますます増加することが想定されます。また、非正規雇用の増加による、生活困窮など市民の生活の中に多種多様な課題があります。本市では、このような

事案に対して、さまざまな施策を展開しています。

介護保険の認定を受けている高齢者一人一人に焦点を当て、介護・医療・保健などの専門家で「地域ケア会議」を開催し、「要支援」の方がどうすればその状態を改善できるか、進行を防げるかを検討し、支援を行っているようです。これにより支援を行った方の状態が改善し、15〜16%の人が介護保険を「卒業」しており、「孫と散歩ができた」「畑に出られた」など喜びの声が寄せられています。また、全国に先駆けて、「卒業生」や将来介護を必要とする可能性の高い人も気軽に利用できる多様な「通い



ぎつきお城まつりを彩る江戸行列

の場づくり」にも取り組んでいます。ほかにも認知症の方、軽度認知障害の高齢者などの行方不明事案が発生した際に一斉メール等で早期発見できるように、商工会や介護事業所など29の企業と市で協定を結び「高齢者等SOSネットワーク」を構築し、地域での見守りの体制を整えました。

さらに、本年の10月には生活に困窮している方を早期に支援しようと「自立相談支援センター」を開設しました。一人で経済的な問題等を抱え困っている方のお話を聞き、現状を把握し早期の問題の解決に向けサポートを行っています。今後、誰もが住み慣れた地域でいくつになっても安心・安全に生活できるよう施策を展開していきます。

現場主義の行政に

平成25年10月に市長に就任して以来、目線は市民の高さに、視点は常に弱い人に合わせ、市民の声を大切にす清廉で開かれた市政、地域バランスの取れた活力あるまちづくり、誰もが安心・安全に暮らせる地域づくりの3点を心掛け市政運営に取り組んでいます。

都市化、核家族化が進む中で市民をはじめ、地域、企業が抱える問題は自己で解決することが困難になっていきます。このような状況の中で、市が果たす役割は大きく、どんな課題を抱えているか、机の上で考えるのではなく現場に出掛け、肌感覚で理解しなければなりません。そういう現場主義の職員を一人でも多く増やしたいと考えています。そのために派遣研修や

プロフィール

- ◆ 面積 280.03km²
- ◆ 人口 3万1015人
- ◆ 世帯数 1万3492世帯

〔将来都市像〕歴史と文化の薫り高き豊かな感性があふれるまち
 〔まちの特徴〕交通の利便性が高く、江戸時代の城下町と風光明媚な美しい自然に囲まれたまち

〔市町村合併〕平成17年10月1日に旧杵築市と旧山香町、旧大田村の1市1町1村が対等合併



杵築市長 永松 悟



〔特産品〕牡蠣、ちりめん、山香米、豊後牛、しし肉、しいたけ、苺、きつき茶、ハウスみかん
 〔観光〕大原邸、酢屋の坂、杵築城下町資料館、一松邸、山香温泉風の郷、横岳自然公園
 〔イベント〕ぎつきお城まつり、杵築市やまが温泉エビネ祭り、白鬚田原神社のどぶろく祭り、城下町杵築観月祭

人事交流を積極的にを行い、専門知識の吸収など職員のスキルの上向上に努めています。本市は平成27年で合併10周年を迎えます。これからも、10年先、20年先を見据え、伝統に根ざした「歴史と文化の薫り高き豊かな感性があふれるまち」を将来像として市民福祉の向上と均衡ある地域の発展に努め、健康で活力のある安心の杵築市の実現を目指します。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。